

浅草寺と仲見世の色を探る



浅草寺本堂



「風雷神門」雷門



浅草神社（三社様）



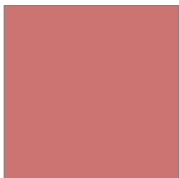
宝蔵門



仲見世通り



二天門（浅草寺東門）



10R5/8 (近似)



9R4/6 (近似)



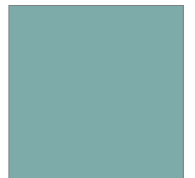
5YR4/1 (近似)



7.5YR5/2.5 (近似)



灰色・銀色



緑青色

浅草寺の主調色は赤系統と言えます。

使用されている面積が大きく、白や瓦の灰色に隣り合っているために、一層鮮やかに見えます。ただ、赤の色を厳密に比較すると、経過年数による違いや、使われている顔料の種類が異なるなどの理由によって、色はまちまちになっています。弁柄とより鮮やかな赤顔料が混合されていると考えられます。

補助的に使われて赤を引き立てている色は、時代がついた木材の色、塗り壁の白、瓦の銀灰色と銅板葺きの屋根の緑青色などです。

建築素材は木材からコンクリートや鉄鋼、チタンの瓦に変わってきており、素材色の良さから人工色の洗練の時代に入っています。

仲見世には五行思想の五色も配されています。